

ドイツ文学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
ドイツ文学概論Ⅰ	ドイツ文学史	2	嶋崎 啓	3	水曜3限
ドイツ文学概論Ⅱ	ドイツ文学史	2	嶋崎 啓	4	水曜3限
ドイツ語学概論Ⅰ	中級ドイツ文法	2	嶋崎 啓	3	月曜2限
ドイツ語学概論Ⅱ	中級ドイツ文法	2	嶋崎 啓	4	月曜2限
ドイツ語学基礎講読Ⅰ	ドイツ語スキルアップ	2	NARROG HEIKO	3	火曜3限
ドイツ語学基礎講読Ⅱ	ドイツ語スキルアップ	2	NARROG HEIKO	4	火曜3限
ドイツ文学各論Ⅰ	ルーマニア・ドイツ語文学 におけるホコーストとナチ ズム	2	藤田 恭子	5	金曜3限
ドイツ文学各論Ⅱ	ドイツ語の散文作品を読 む	2	藤田 恭子	6	金曜3限
ドイツ文学各論Ⅲ	ドイツ(語)文化圏としての 中欧の文化と歴史 (17)	2	佐藤 雪野	5	火曜5限
ドイツ文学各論Ⅳ	ドイツ(語)文化圏としての 中欧の文化と歴史 (18)	2	佐藤 雪野	6	火曜5限
ドイツ語学各論	ドイツ語の詩を読む	2	NARROG HEIKO	5	木曜2限
ドイツ語学各論	カフカを読む(1)	2	森本 浩一	5	金曜4限
ドイツ語学各論	より楽にドイツ語を読むた めに	2	菊池 克己	6	火曜4限
ドイツ語学各論	ドイツ語の詩を読む	2	NARROG HEIKO	6	水曜2限
ドイツ語学各論	カフカを読む(2)	2	森本 浩一	6	金曜4限
ドイツ文学演習Ⅰ	グリム童話を読む	2	嶋崎 啓	5	水曜4限

ドイツ文学

ドイツ文学演習Ⅱ	グリム童話を読む	2	嶋崎 啓	6	水曜4限
ドイツ文学演習Ⅲ	中世ドイツ文学	2	嶋崎 啓	5	月曜4限
ドイツ文学演習Ⅳ	中世ドイツ文学	2	嶋崎 啓	6	月曜4限
ドイツ語学演習Ⅲ	ドイツ語学演習	2	NARROG HEIKO	5	水曜2限
ドイツ語学演習Ⅳ	ドイツ語学演習	2	NARROG HEIKO	6	木曜2限

科目名：ドイツ文学概論 I

曜日・講時：水曜 3 限

セメスター：3 単位数：2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB33303, 科目ナンバリング：LHM-LIT204J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ文学史

2. 授業の目的と概要：9 世紀から現代までのドイツ文学の歴史を概観する。ドイツ文学の主要な作品を紹介する。

3. 学習の到達目標：ドイツ文学の歴史の概要を知る。ドイツ文学の主要な作品の内容を知る。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 古高ドイツ語期の文学 (1)
- 3 古高ドイツ語期の文学 (2)
- 4 中世文学 (1)
- 5 中世文学 (2)
- 6 中世文学 (3)
- 7 中世文学 (4)
- 8 初期新高ドイツ語期の文学 (1)
- 9 初期新高ドイツ語期の文学 (2)
- 10 初期新高ドイツ語期の文学 (3)
- 11 バロック期の文学
- 12 啓蒙主義
- 13 ゲーテ時代 (1)
- 14 ゲーテ時代 (2)
- 15 ゲーテ時代 (3)

5. 成績評価方法：レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

6. 教科書および参考書：参考書：『増補ドイツ文学案内』手塚富雄・神品芳夫、岩波文庫、1993、9784003500033
参考書：『はじめて学ぶドイツ文学史』柴田翔、ミネルヴァ書房、2003、9784623037124

7. 授業時間外学習：最も大事なことは自分で実際に作品を読むことです。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ文学概論Ⅱ

曜日・講時：水曜 3 限

semester：4 単位数：2.00 単位

担当教員：鳴崎 啓

コード：LB43302, 科目ナンバリング：LHM-LIT205J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ文学史

2. 授業の目的と概要：9世紀から現代までのドイツ文学の歴史を概観する。ドイツ文学の主要な作品を紹介する。

3. 学習の到達目標：ドイツ文学の歴史の概要を知る。ドイツ文学の主要な作品の内容を知る。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 ロマン主義 (1)
- 3 ロマン主義 (2)
- 4 ロマン主義 (3)
- 5 三月前期 (1)
- 6 三月前期 (2)
- 7 19世紀後半の文学 (1)
- 8 19世紀後半の文学 (2)
- 9 19世紀後半の文学 (3)
- 10 20世紀前半の文学 (1)
- 11 20世紀前半の文学 (2)
- 12 20世紀前半の文学 (3)
- 13 戦後の文学 (1)
- 14 戦後の文学 (2)
- 15 児童文学

5. 成績評価方法：レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

6. 教科書および参考書：参考書：『増補ドイツ文学案内』手塚富雄・神品芳夫、岩波文庫、1993、9784003500033
参考書：『はじめて学ぶドイツ文学史』柴田翔、ミネルヴァ書房、2003、9784623037124

7. 授業時間外学習：最も大事なことは自分で実際に作品を読むことです。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学概論 I

曜日・講時：月曜 2 限

Semester：3 単位数：2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB31202, 科目ナンバリング：LHM-LIT206J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中級ドイツ文法

2. 授業の目的と概要：初級のドイツ文法では習わない事項を取り上げ、ドイツ語の文法をより深く理解することを目指す。

3. 学習の到達目標：ドイツ語文法の理解を深め、ドイツ語をより正しく読み、書くことができるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 接続法 (1)
- 3 接続法 (2)
- 4 接続法 (3)
- 5 命令表現 (1)
- 6 命令表現 (2)
- 7 不定詞 (1)
- 8 不定詞 (2)
- 9 分詞 (1)
- 10 分詞 (2)
- 11 分詞 (3)
- 12 語順 (1)
- 13 語順 (2)
- 14 格の用法 (1)
- 15 格の用法 (2)

5. 成績評価方法：レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。必ず辞書を持参すること。

参考書：関口存男『新ドイツ語文法教程』（三省堂）

7. 授業時間外学習：復習が重要である。講義の内容理解を確かめる課題のレポートを提出してもらう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学概論Ⅱ

曜日・講時：月曜 2 限

セメスター：4 単位数：2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB41202, 科目ナンバリング：LHM-LIT207J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中級ドイツ文法

2. 授業の目的と概要：初級のドイツ文法では習わない事項を取り上げ、ドイツ語の文法をより深く理解することを目指す。

3. 学習の到達目標：ドイツ語文法の理解を深め、ドイツ語をより正しく読み、書くことができるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 前置詞 (1)
- 3 前置詞 (2)
- 4 前置詞 (3)
- 5 否定表現 (1)
- 6 否定表現 (2)
- 7 否定表現 (3)
- 8 副詞 (1)
- 9 副詞 (2)
- 10 形容詞の格変化 (1)
- 11 形容詞の格変化 (2)
- 12 話法の助動詞 (1)
- 13 話法の助動詞 (2)
- 14 冠飾句 (1)
- 15 冠飾句 (2)

5. 成績評価方法：レポート [50%]・平常点(出席、授業での発言、質疑) [50%]

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。必ず辞書を持参すること。

参考書：関口存男『新ドイツ語文法教程』（三省堂）

7. 授業時間外学習：復習が重要である。講義の内容理解を確かめる課題のレポートを提出してもらう。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学基礎講読 I

曜日・講時：火曜 3 限

セメスター：3 単位数：2.00 単位

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB32305, 科目ナンバリング：LHM-LIT221J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語スキルアップ

2. 授業の目的と概要：全学教育で身についたドイツ語能力を安定させ、発展させる。
ドイツ語圏文化と習慣に触れ、テーマに沿って語彙を増やせ文章の理解力や表現力を高める。

3. 学習の到達目標：A2 レベル程度のドイツ語力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業説明

受講者のドイツ語能力確認

2. Im Restaurant I

3. Im Restaurant II

4. Im Restaurant III

5. Im Hotel I

6. Im Hotel II

7. Im Hotel III

8. In der Stadt I

9. In der Stadt II

10. In der Stadt III

11. Reise und Verkehr I

12. Reise und Verkehr II

13. Reise und Verkehr III

14. Wetter I

15. Wetter II, 授業到達目標確認

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力の時時点では未定で、学期初めに決まります。そのときClassroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

5. 成績評価方法：毎回の参加、課題。最終回試験。

6. 教科書および参考書：Szenen 2 heute aktuell ワークブック付き（生協文型店で入手可）

7. 授業時間外学習：毎回の課題。課題の提出と、添削を受けたうえでの修正・完成が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

この授業の課題等は、Google Classroom上で運営さえる

科目名：ドイツ語学基礎講読Ⅱ

曜日・講時：火曜 3 限

semester：4 単位数：2.00 単位

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB42305, 科目ナンバリング：LHM-LIT222J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語スキルアップ

2・授業の目的と概要：全学教育で身についたドイツ語能力を安定させ、発展させる。
ドイツ語圏文化と習慣に触れ、テーマに沿って語彙を増やせ文章の理解力や表現力を高める。

3. 学習の到達目標：A2 レベル程度のドイツ語力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 授業説明

受講者のドイツ語能力確認

2. Wetter II

3. Wetter III

4. Gesundheit und Körperpflege I

5. Gesundheit und Körperpflege II

6. Gesundheit und Körperpflege III

7. Geschenke und Einladungen I

8. Geschenke und Einladungen II

9. Geschenke und Einladungen III

10. Lebenslauf und Schulsystem I

11. Lebenslauf und Schulsystem II

12. Lebenslauf und Schulsystem III

13. Müll und Umwelt I

14. Müll und Umwelt II

15. 授業到達目標確認

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードはシラバス入力の時時点では未定で、学期初めに決まります。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

5. 成績評価方法：毎回の参加、課題。最終回試験。

6. 教科書および参考書：Szenen 2 heute aktuell ワークブック付き。三修社（大学生協で入手可能）

7. 授業時間外学習：毎回の課題。課題の提出と、添削を受けたうえでの修正・完成が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ文学各論 I

曜日・講時：金曜 3 限

semester：5 単位数：2.00 単位

担当教員：藤田 恭子、藤田 恭子

コード：LB55301, **科目ナンバリング：**LHM-LIT306J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：ルーマニア・ドイツ語文学におけるホロコーストとナチズム

2・授業の目的と概要：ドイツ語のテキストを厳密に読む。背景知識としてルーマニアにおけるナチズム受容とホロコーストの歴史を知る。

3. 学習の到達目標：ドイツ語の文学テキストを、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

ユダヤ系詩人たちおよびドイツ系作家のテキストを取り上げる。彼らの自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

第1回 導入

第2回 ルーマニアにおけるドイツ語話者の歴史

第3回 ルーマニアにおけるナチズム

第4回 ホロコーストをテーマとする詩 (1)

第5回 ホロコーストをテーマとする詩 (2)

第6回 ホロコーストをテーマとする詩 (3)

第7回 自伝的エッセイ (1)

第8回 自伝的エッセイ (2)

第9回 自伝的エッセイ (3)

第10回 ナチズム受容をテーマとする小説 (1)

第11回 ナチズム受容をテーマとする小説 (2)

第12回 ナチズム受容をテーマとする小説 (3)

第13回 二次文献 (1)

第14回 二次文献 (2)

第15回 まとめ

5. 成績評価方法：平常点 (出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加)

6. 教科書および参考書：プリントを配付する。

7. 授業時間外学習：事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

このクラスでは Google Classroom を用いて、授業連絡などを行う。教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

科目名：ドイツ文学各論Ⅱ

曜日・講時：金曜3限

semester：6 単位数：2.00 単位

担当教員：藤田 恭子

コード：LB65302, 科目ナンバリング：LHM-LIT307J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語の散文作品を読む

2. 授業の目的と概要：散文テキストを読み、また著者の自伝的テキストや二次文献を読んで、多様な解釈の可能性を知る。

3. 学習の到達目標：ドイツ語による散文を、その言語的時代的文脈を理解しつつ、解釈する方法を知る。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

2009年度ノーベル文学賞を受賞したヘルタ・ミュラー (Herta Müller, 1953-)のテキストを取り上げる。彼女の自伝的エッセイや二次文献の一部も読む。

第1回 導入

第2回 ヘルタ・ミュラーの小説 (1)

第3回 ヘルタ・ミュラーの小説 (2)

第4回 ヘルタ・ミュラーの小説 (3)

第5回 ヘルタ・ミュラーの小説 (4)

第6回 ヘルタ・ミュラーの小説 (5)

第7回 ヘルタ・ミュラーの小説 “ (6)

第8回 ヘルタ・ミュラーの小説 (7)

第9回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (1)

第10回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (2)

第11回 ヘルタ・ミュラーの自伝的エッセイ (3)

第12回 二次文献 (1)

第13回 二次文献 (2)

第14回 二次文献 (3)

第15回 まとめ

5. 成績評価方法：平常点（出席、授業での発言、課題の発表、議論への参加）

6. 教科書および参考書：プリントを配付する。

7. 授業時間外学習： 事前に配付したドイツ語テキストを予習し、読解すること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

このクラスではGoogle Classroomを用いて、授業連絡などを行う。

教員の連絡先は以下の通り。kyoko.fujita.e5 アトマーク、トーホク、エーシー、ジェーピー

科目名：ドイツ文学各論Ⅲ

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：佐藤 雪野

コード：LB52502, 科目ナンバリング：LHM-LIT308J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (17)

2・授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほかに、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

3. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. プラハの歴史
3. ボヘミアとドイツ人
4. プラハとユダヤ人
5. プラハのドイツ文学
6. レンカ・ライネロヴァーとプラハ
7. ライネロヴァーの作品講読 1
8. ライネロヴァーの作品講読 2
9. ライネロヴァーの作品講読 3
10. ライネロヴァーの作品講読 4
11. ライネロヴァーの作品講読 5
12. ライネロヴァーの作品講読 6
13. ライネロヴァーの作品講読 7
14. ライネロヴァーの作品講読 8
15. まとめ

5. 成績評価方法：平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

6. 教科書および参考書：テキストはプリント配布

その他の参考書は授業中に指示する。

Text will be provided at the class. Reference books will be introduced at the class.

7. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

Students are required to prepare for the assigned part of the designated textbook for each class.

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

ドイツ語未修者で、受講希望の場合は、初回の授業時に申し出ること。

科目名：ドイツ文学各論IV

曜日・講時：火曜 5 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：佐藤 雪野

コード：LB62501, 科目ナンバリング：LHM-LIT309J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ（語）文化圏としての中欧の文化と歴史 (18)

2・授業の目的と概要：広い意味でのドイツ（語）文化圏の歴史と文化を、様々な側面から理解する。

その際、ドイツ以外のドイツ（語）文化圏に着目する。

「ドイツ文化圏」としてのプラハに注目し、なぜそこに「ドイツ文化圏」が生じたのかを含め、プラハの多文化性を考察する。講義のほかに、ドイツ語で書かれたテキストを読む機会を設け、ドイツ語の読解力も高める。

3. 学習の到達目標：1. ドイツ（語）文化圏の歴史と文化を理解する。

2. ドイツ語の読解力を向上させる。

3. わかりやすいプレゼンテーション能力を身につける。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度は以下の通りを予定しているが、状況によって内容を変更する場合がある。

1. オリエンテーション
2. エゴン・エルヴィン・キッシュとプラハ
3. ホロコーストとプラハ
4. キッシュ作品講読 1
5. キッシュ作品講読 2
6. キッシュ作品講読 3
7. キッシュ作品講読 4
8. キッシュ作品講読 5
9. キッシュ作品講読 6
10. キッシュ作品講読 7
11. キッシュ作品講読 8
12. キッシュ作品講読 9
13. キッシュ作品講読 10
14. キッシュ作品講読 11
15. まとめ

5. 成績評価方法：平常点（出席、アサインメント、発言状況）：70%

期末課題：30%

6. 教科書および参考書：テキストはプリント配布。

その他の参考書は授業中に指示する。

7. 授業時間外学習：予習は、テキストを読み、関連事項を調べておくこと。

復習時にも、調査が必要。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

9. その他：

進度については一例であり、受講者の状況により、臨機応変に対応する。

テキストの入手方法や、その他の補足説明（オフィス・アワー、講師への連絡方法など）は開講時に行う。

科目名：ドイツ語学各論

曜日・講時：木曜 2 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB53203, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語の詩を読む

2・授業の目的と概要：詩を通してドイツ語圏文学について学び、同時に詩の韻律等を活用し、ドイツ語のリズムとイントネーションについても学ぶ。同時にドイツ・リートについても学ぶ。

3. 学習の到達目標：ドイツ語の詩について基礎的に理解し、ドイツ語の発音及びリズム・イントネーションスキルを向上させる

4. 授業の内容・方法と進度予定：

古典時代の 18 世紀後半から 20 世紀前半にかけて代表的なドイツ語圏の詩人の詩を読んで、その一部を暗記する。また、可能な場合、同時に作曲家による旋律に載ったバージョンも吟味する。

第 1～第 7 週 ゲーテ

第 8～第 15 週 ヘルダリン

ただし、参加者のドイツ語力や関心に合わせて異なるものを読む場合もある

5. 成績評価方法：授業参加と毎回の課題・宿題に基いて評価する

6. 教科書および参考書：授業時に指示。詩の暗記が求められる

7. 授業時間外学習：毎回の課題

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学各論

曜日・講時：金曜 4 限

semester：5 **単位数：**2.00 単位

担当教員：森本 浩一

コード：LB55403, **科目ナンバリング：**LHM-LIT311J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：カフカを読む (1)

2・授業の目的と概要：フランツ・カフカ (Franz Kafka: 1883-1924) の小説をテキストとして、ドイツ文学作品を原文で読解・解釈する訓練を行います。映画化された作品も鑑賞する予定です。文学研究や他の関連する話題に関する簡単な講義なども行いたいと考えています。

3. 学習の到達目標：ドイツ文学作品の読解力が向上すること。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. テキスト講読 (1)
3. テキスト講読 (2)
4. テキスト講読 (3)
5. テキスト講読 (4)
6. テキスト講読 (5)
7. テキスト講読 (6)
8. テキスト講読 (7)
9. テキスト講読 (8)
10. テキスト講読 (9)
11. テキスト講読 (10)
12. テキスト講読 (11)
13. テキスト講読 (12)
14. テキスト講読 (13)
15. まとめ

5. 成績評価方法：おおむね、予習と授業への参加 (80%) とレポート (20%)

6. 教科書および参考書：テキストは教師が準備します。

7. 授業時間外学習：毎回、事前に訳読の準備をして出席してください。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

- ・質問その他の連絡は、以下のメール・アドレスへ。 xkc-m2rt@tohoku.ac.jp (◎を@に変更)
- ・授業は原則として対面で実施します。リモートに切り替える場合は、Google Classroom で告知します。
- ・オフィス・アワーは特にもうけません。随時、個人的な質問・相談・雑談など受けつけます。上記のアドレス宛に連絡してアポを取ってください。教員研究室は、川内北地区・国際交流棟 (アクセスマップ A12) の2階です。

科目名：ドイツ語学各論

曜日・講時：火曜 4 限

semester：6 単位数：2.00 単位

担当教員：菊池 克己

コード：LB62404, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：より楽にドイツ語を読むために

2・授業の目的と概要：細部まで深く掘り下げる「精読」よりも、大雑把でもたくさん読む「多読」のほうが、効果的に外国語が身につくと多くの人が指摘する。しかし、単語や文法をハードルに感じてしまい、なかなか踏み出せなかったり、やり方がわからない人も多い。

そこで、文法を再確認するとともに、「多読」的な読み方を例示するために、簡単に（おそらく辞書なしで）挑戦できる本を最初に取り上げる（やさしい言葉で書かれた文法書やドイツの政治制度の案内書などを予定）。これを導入として、以降は各自が、DaF の読み物、絵本・児童書、マンガ、ネットの記事などから好きなものを選び、「多読」に挑戦する。

それを通して、気楽にドイツ語に触れ、楽しむための自分なりのスタイルを見つけることが、授業の目的となる。

3. 学習の到達目標：・ドイツ語に対する心理的なハードルを下げる

- ・ドイツ語を気楽に読める自分なりのスタイルを見つける
- ・ドイツ語を読む頻度と量を増やす

4. 授業の内容・方法と進度予定：

自分に合う本を自分で選び、自分のペースで読む。その感想などを簡単に記録する。また、自分が読んだ本を紹介し、情報交換する。

- 1 オリエンテーション：多読とは何か？
- 2 多読実践 1
- 3 多読実践 2
- 4 多読実践 3
- 5 多読実践 4
- 6 多読実践 5
- 7 多読実践 6
- 8 ここまでの感想、自分の多読を発展・深化させるために目標を立てる
- 9 多読実践 7
- 10 多読実践 8
- 11 多読実践 9
- 12 多読実践 10
- 13 多読実践 11
- 14 多読実践 12
- 15 読書経験を振り返って

5. 成績評価方法：平常点 [100%]

6. 教科書および参考書：教科書/読書用の書籍は教室で説明

7. 授業時間外学習：隙間時間を利用するなど、できるだけ多読に取り組む。訳さずに読む「読書」を習慣化する努力を。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学各論

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB63203, 科目ナンバリング：LHM-LIT311J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語の詩を読む

2. 授業の目的と概要：詩を通してドイツ語圏文学について学び、同時に詩の韻律等を活用し、ドイツ語のリズムとイントネーションについても学ぶ。同時にドイツ・リートについても学ぶ。

3. 学習の到達目標：ドイツ語の詩について基礎的に理解し、ドイツ語の発音及びリズム・イントネーションスキルを向上させる

4. 授業の内容・方法と進度予定：

19世紀ロマン主義の代表的なドイツ語圏の詩人の詩を読んで、その一部を暗記する。また、可能な場合、同時に作曲家による旋律に載ったバージョンも吟味する。

第1～第7週 ハイネ

第8～第11週 アイヒェンドルフ

第12～第15週 メーリケ

ただし、参加者のドイツ語力や関心に合わせて異なるものを読む場合もある

5. 成績評価方法：授業参加と毎回の課題・宿題に基いて評価する

6. 教科書および参考書：授業時に指示

7. 授業時間外学習：授業時に指示。詩の暗記が求められる

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学各論

曜日・講時：金曜 4 限

セメスター：6 **単位数：**2.00 単位

担当教員：森本 浩一

コード：LB65403, **科目ナンバリング：**LHM-LIT311J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：カフカを読む (2)

2・授業の目的と概要：フランツ・カフカ (Franz Kafka: 1883-1924) の小説をテキストとして、ドイツ文学作品を原文で読解・解釈する訓練を行います。映画化された作品も鑑賞する予定です。文学研究や他の関連する話題に関する簡単な講義なども行いたいと考えています。

3. 学習の到達目標：ドイツ文学作品の読解力が向上すること。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. テキスト講読 (1)
3. テキスト講読 (2)
4. テキスト講読 (3)
5. テキスト講読 (4)
6. テキスト講読 (5)
7. テキスト講読 (6)
8. テキスト講読 (7)
9. テキスト講読 (8)
10. テキスト講読 (9)
11. テキスト講読 (10)
12. テキスト講読 (11)
13. テキスト講読 (12)
14. テキスト講読 (13)
15. まとめ

5. 成績評価方法：おおむね、予習と授業への参加 (80%) とレポート (20%)

6. 教科書および参考書：テキストは教師が準備します。

7. 授業時間外学習：毎回、事前に訳読の準備をして出席してください。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

- ・質問その他の連絡は、以下のメール・アドレスへ。 xkc-m2rt@tohoku.ac.jp (◎を@に変更)
- ・授業は原則として対面で実施します。リモートに切り替える場合は、Google Classroom で告知します。
- ・オフィス・アワーは特にもうけません。随時、個人的な質問・相談・雑談など受けつけます。上記のアドレス宛に連絡してアポを取ってください。教員研究室は、川内北地区・国際交流棟 (アクセスマップ A12) の2階です。

科目名：ドイツ文学演習 I

曜日・講時：水曜 4 限

semester：5 **単位数：**2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB53410, **科目ナンバリング：**LHM-LIT323J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：グリム童話を読む

2・授業の目的と概要：グリム童話を原文で読むことによって、ドイツ語の基礎的な表現を学び、そこに表される日本の昔話とは異なるメンタリティーを知ることが目的とする。グリム童話は 19 世紀のやや古いドイツ語で書かれているが、ドイツ語の基礎的な表現の宝庫であり、現代においてもドイツ語の特徴を知る格好の材料である。また日本の物語とは違う物語の展開や登場人物達の行動様式を考察することは異文化理解に大いに役立つ。

3. 学習の到達目標：グリム童話で用いられるドイツ語の表現を理解する。また物語の内容から文化的相違を考える。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 「灰かぶり」講読 1
- 3 「灰かぶり」講読 2
- 4 「灰かぶり」講読 3
- 5 「灰かぶり」講読 4
- 6 「白雪姫」講読 1
- 7 「白雪姫」講読 2
- 8 「白雪姫」講読 3
- 9 「白雪姫」講読 4
- 10 「ヘンゼルとグレーテル」講読 1
- 11 「ヘンゼルとグレーテル」講読 2
- 12 「ヘンゼルとグレーテル」講読 3
- 13 「ヘンゼルとグレーテル」講読 4
- 14 「狼と七匹の子山羊」講読 1
- 15 「狼と七匹の子山羊」講読 2

5. 成績評価方法：平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。

7. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ文学演習Ⅱ

曜日・講時：水曜 4 限

semester：6 単位数：2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB63406, 科目ナンバリング：LHM-LIT324J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：グリム童話を読む

2・授業の目的と概要：グリム童話を原文で読むことによって、ドイツ語の基礎的な表現を学び、そこに表される日本の昔話とは違う心性を知ることが目的とする。グリム童話は 19 世紀のやや古いドイツ語で書かれているが、ドイツ語の基礎的な表現の宝庫であり、現代においてもドイツ語の特徴を知る格好の材料である。また日本の物語とは違う物語の展開や登場人物達の行動様式を考察することは異文化理解に大いに役立つ。

3. 学習の到達目標：グリム童話で用いられるドイツ語の表現を理解する。また物語の内容から文化的相違を考える。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 「ラプンツェル」講読 1
- 3 「ラプンツェル」講読 2
- 4 「ラプンツェル」講読 3
- 5 「ラプンツェル」講読 4
- 6 「いばら姫」講読 1
- 7 「いばら姫」講読 2
- 8 「いばら姫」講読 3
- 9 「いばら姫」講読 4
- 10 「ブレーメンの音楽隊」講読 1
- 11 「ブレーメンの音楽隊」講読 2
- 12 「ブレーメンの音楽隊」講読 3
- 13 「ブレーメンの音楽隊」講読 4
- 14 「赤ずきん」講読 1
- 15 「赤ずきん」講読 2

5. 成績評価方法：平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。

7. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

9. その他：

科目名：ドイツ文学演習Ⅲ

曜日・講時：月曜 4 限

セメスター：5 単位数：2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB51406, 科目ナンバリング：LHM-LIT325J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中世ドイツ文学

2・授業の目的と概要：現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

3. 学習の到達目標：中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 中高ドイツ語入門 1 (発音)
- 3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)
- 4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)
- 5 中高ドイツ語文学講読 1 (1764-1765)
- 6 中高ドイツ語文学講読 2 (1766-1767)
- 7 中高ドイツ語文学講読 3 (1768-1770)
- 8 中高ドイツ語文学講読 4 (1771-1773)
- 9 中高ドイツ語文学講読 5 (1774-1776)
- 10 中高ドイツ語文学講読 6 (1777-1780)
- 11 中高ドイツ語文学講読 7 (1781-1784)
- 12 中高ドイツ語文学講読 8 (1785-1788)
- 13 中高ドイツ語文学講読 9 (1789-1792)
- 14 中高ドイツ語文学講読 10 (1793-1796)
- 15 中高ドイツ語文学講読 11 (1798-1801)

5. 成績評価方法：平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

7. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ文学演習Ⅳ

曜日・講時：月曜 4 限

セメスター：6 単位数：2.00 単位

担当教員：嶋崎 啓

コード：LB61406, 科目ナンバリング：LHM-LIT326J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：中世ドイツ文学

2・授業の目的と概要：現代文学の源流としての中世ドイツ文学の歴史を知るとともにその特殊性を理解する。

現代文学において恋愛がテーマになるのは珍しいことではないが、ドイツ文学史において恋愛が主題になったのは 12 世紀であった。それ以前のドイツ文学の主題はキリスト教であった。ただし、12 世紀に恋愛が主題とされた場合に雛形となったのはキリスト教の神への信仰であったので、その恋愛は崇高な愛の形をとった。しかしそのような高貴な愛も騎士文化の衰退と市民社会の興隆とともに通俗化する。授業では、恋愛のほかに北欧伝説との関係も見ながら、中世ドイツ文学の流れを社会の変動も踏まえながら考察したい。

3. 学習の到達目標：中世ドイツ文学の歴史を知り、その特殊性を理解する。中高ドイツ語の文学作品を読んでその内容が理解できる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1 ガイダンス
- 2 中高ドイツ語入門 1 (発音)
- 3 中高ドイツ語入門 2 (名詞・代名詞・形容詞)
- 4 中高ドイツ語入門 3 (動詞)
- 5 中高ドイツ語文学講読 1 (1802-1803)
- 6 中高ドイツ語文学講読 2 (1804-1805)
- 7 中高ドイツ語文学講読 3 (1806-1808)
- 8 中高ドイツ語文学講読 4 (1809-1811)
- 9 中高ドイツ語文学講読 5 (1812-1814)
- 10 中高ドイツ語文学講読 6 (1815-1818)
- 11 中高ドイツ語文学講読 7 (1819-1822)
- 12 中高ドイツ語文学講読 8 (1823-1826)
- 13 中高ドイツ語文学講読 9 (1827-1830)
- 14 中高ドイツ語文学講読 10 (1831-1834)
- 15 中高ドイツ語文学講読 11 (1835-1838)

5. 成績評価方法：平常点(出席、授業での発言、質疑) [100%]

6. 教科書および参考書：プリントを配布する。参考書：『中高ドイツ語小辞典』同学社；古賀充洋『中高ドイツ語』大学書林；岡崎忠弘訳『ニーベルンゲンの歌』

7. 授業時間外学習：前もって文法的説明を加えた注を配布するので、それに基づき、辞書を使って予習をすること。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：ドイツ語学演習Ⅲ

曜日・講時：水曜 2 限

semester：5 単位数：2.00 単位

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB54208, 科目ナンバリング：LHM-LIT329J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語学演習

2・授業の目的と概要：2年間養ったドイツ語力をヨーロッパ基準の中級教材を用いて更に安定させて高める。読む・書く・聞く・話すの基礎的能力を体系的に向上させる。

3. 学習の到達目標：B1～B2 レベルのドイツ語を身につける

4. 授業の内容・方法と進度予定：

下記は授業内容の一例です。

1. Reisetyp I
2. Reisetyp II
3. Einmal um die ganze Welt I
4. Einmal um die ganze Welt II
5. Einmal um die ganze Welt III
6. Urlaub mal anders I
7. Urlaub mal anders II
8. Arger an den schönsten Tagen I
9. Arger an den schönsten Tagen II
10. Arger an den schönsten Tagen III
11. Eine Reise nach Hamburg I
12. Eine Reise nach Hamburg II
13. Eine Reise nach Hamburg III
14. Alexander von Humboldt I
15. Alexander von Humboldt II

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力時点では未定で学期初めに決まります。そのとき Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

5. 成績評価方法：毎回の課題及び授業参加に基づいて評価する

6. 教科書および参考書：Aspekte neu B1, Teil 2 又は Stufen International 2

7. 授業時間外学習：毎回課題が出される。さらに、添削された課題の修正・完成が求められる

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

参加条件は、(1) 1年分のドイツ語基礎講読を受けた、または(2) ドイツ語圏に留学したことがある

科目名：ドイツ語学演習Ⅳ

曜日・講時：木曜 2 限

semester：6 単位数：2.00 単位

担当教員：NARROG HEIKO

コード：LB64206, 科目ナンバリング：LHM-LIT330J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：ドイツ語学演習

2・授業の目的と概要：2年間養ったドイツ語力をヨーロッパ基準の中級教材を用いて更に安定させて高める。読む・書く・聞く・話すの基礎的能力を体系的に向上させる。

3. 学習の到達目標：B1～B2 レベルのドイツ語を身につける

4. 授業の内容・方法と進度予定：

下記は、授業内容の一例です

1. Natürlich Natur I
2. Natürlich Natur II
3. Umweltproblem Single I
4. Umweltproblem Single II
5. Umweltproblem Single III
6. Tierisch tierlieb I
7. Tierisch tierlieb II
8. Alles für die Umwelt I
9. Alles für die Umwelt II
10. Alles für die Umwelt III
11. Kostbares Nass I
12. Kostbares Nass II
13. Kostbares Nass III
14. Elisabeth Mann Borgese I
15. Elisabeth Mann Borgese II

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。クラスコードはシラバス入力時点では未定で学期初めに決まります。そのとき Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

5. 成績評価方法：毎回の課題及び授業参加に基づいて評価する

6. 教科書および参考書：Aspekte neu B1, Teil 2 又は Stufen International 2

7. 授業時間外学習：毎回課題が出される。さらに、添削された課題の修正・完成が求められる。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicatesthe practicalbusiness

9. その他：

参加条件は、(1) 1年分のドイツ語基礎講読を受けた、または(2) ドイツ語圏に留学したことがある